

① そばうちたいけん

若林西子ども会 2年 只保 凜佳

わたしは、こなからそばを作りました。はじめて作ったのでこなをかためるところや切るところがむずかしかったです。こなをかためるところは、さらさらのこなからねん土みたいな一つのまとまりにするのに力がいっぱいひつようでした。のばすところでは、あつくなったりうすくなったり、あつきのバランスにきをつけました。切るところは、ほうちようが大きくておもたかったです。同じほそさに切るのがむずかしく、ほそそばや太いそばなどいろいろなほそさのそばができました。そばこからいつも食べているようなほそそばを作るのはしりませんでした。だから、べんきようになりました。

自分で作ったそばはおうちでざるそばとかけそばのりようほうでたべました。わたしは、かけそばの方が好きでした。でも、りようほうおいしかったです。スーパー

でかっているそばとちがってかんでいたらあずきのようなあじがしました。ちよつとあまいかんじでした。

むずかしかったけれど、先生におしえてもらいながらこねたりのばしたり切ったりするのが楽しかったです。そばの作り方をすることができました。またきかいたければこなからそばをつくってみたいです。



② ぼくの子ども会

佐鳴台二・三丁目子ども会 2年 高橋 宗裕

ぼくは、1年生のときに4ちよう目子ども会に入りました。2ちよう目へひっこしで子ども会をやめたけども

うーど楽しみたいと思って学校から子ども会のおたよりをもらった2年生の秋にお母さんにおねがいしました。

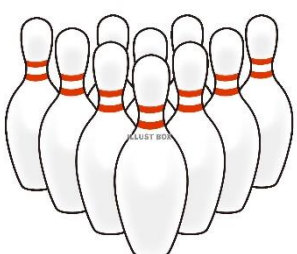
1年生のときの4ちょう目の子ども会はぜんぶイベントが楽しかったです。ちびまる子ちゃんランドへのえん足はテレビのせかいに入ったみたいでワクワクしました。

さいごのボーリング大会は、ぼくはボーリングがはじめてでうれしくて、ボールをなげるのがすここわかった。ほかにもなつまつりのてったいはお店やさんになれました。

今の2ちょう目子ども会も同じように楽しいことをしたいです。2ちょう目子ども会に入ってから話すことがふえた友だちがいます。友だちがふえてよかったです。ぼくのはじめての2ちょう目子ども会のイベントは、パルパルです。パルパルえん足へ行って楽しかったです。コロナのかんせんよぼうでしようどくとまち時間が長かったから、キャラクターに会えておどろいていそいでし

やしんをとりに行きました。いっしょに行った妹も楽しそうでした。

コロナのせいで楽しみにしていたいちごがりが中止になりました。いちごは3番目にすきなくだものだし、いちごがりをしたことがないです。だから中止になってかなくなりました。コロナウイルスがいやでこわいから、なくなってほしい。なくなったら、いちごがりに行きたいです。ぼくは1番すきなくだものはマスカットだから子ども会でぶどうがりがやれたらいいなと思います。



③ 少しこわかったけど楽しかった気球

若林西子ども会 5年 太田なつみ

私は今日、初めて気球に乗りました。気球は家からちよつど見えて思っていたよりも大きくておどろきました。とても長く列がならんでいて、友達が列に入れてくれました。それを見ていた友達と、楽しいかな？こわくないかな？と話しました。でも、気球に乗っている人が楽しそうだったので、私もわくわくしました。いよいよ順番がまわってきました。順番がまわってくる前ははやくのりたいたいという気持ちでいっぱいだったけど、いざ順番がまわってくるととてもきんちようしました。気球に乗るときは、今から乗る人が左に入って、おる人が右からおりました。これは気球がかったに飛んでいかないようにする工夫だと後から気づき、すごいなと思いました。乗っているさい中には、気球の上の丸い部分の中で火がポポポウなっていてとても熱かったです。気球が1m、

2mと、どんどん上上がっていくので、1m位まではわくわくどきどきしていたけど、もっと上になるとこわくなってきました。こんなに高いところに行ったのは初めてだったので足がとてもびくびくしました。でも、高いところに行くといいことがありました。それは景色がとてもきれいだったことです。学校の屋上や学校のプール、たくさんの家やお店が見えて景色がとてもきれいでした。乗り終えたとき写真をとっていたお父さんがすごい高かったね。おどろいたよ。と言っていました。家に帰ってお母さんに、ちよつとこわかったけど楽しかったよと伝えました。お母さんは仕事に行つて、気球の体験には来られなかったのでお母さんも乗りたいと言っていました。なので、次にもし乗るときがあったらお母さんといっしょに乗りたいです。でも、お父さんは高いところが苦手で、私ももっと高く上がるとこわすぎて泣いてしまうかもしれません。けれどとても楽しい経験

になりました。



④ カヌーに乗って

若林西子ども会 5年 皆見 楓

わたしは、夏休みに子ども会のカヌー体験教室に参加しました。今年の夏休みは新型コロナウイルスのえいきょうで関東に住むおじいちゃんおばあちゃんや親せきに会うことができませんでした。いろいろなイベントが中止になっている中で、カヌー体験教室が開さいされることをとても楽しみにしていました。

わたしは、カヌーに乗ることが初めてでした。最初にカヌーのこぎ方を陸の上で教わりました。いざ川に入ってみると、カヌーがとても不安定で川におちそうなほどグラグラゆれました。友達が乗っているカヌーにぶつかったり、しげみに入ったりしました。休けい後二回目に乗ると、一回目に乗ったときよりも安定して上手になりました。コツをつかむと、自分の行きたい方向に行けるようになり、友達としゃべりながらこげるようになりました。楽しく過ごしていると、時間はあっという間に終了時間になってしまいました。友達と「つかれたけれど、楽しかったね。」と話しながら帰宅しました。

自しゆくと言われている中で、学校の友達と体験教室にいっしょに出かけられてうれしかったです。そして、カヌー体験教室のできる環境が市内にあって良かったなと感じました。とても良い経験をさせていただきました。来年も、子ども会でいろいろな体験をしてみたいです。

⑤ 監督の一言

狸谷子ども会 6年 山本 愛香

「チーム皆で一勝。」

監督のこの一言は、いままでの私の心を動かした大事な一言だった。

六年生になり、シューター時にはボール運びとして試合に出るようになった。監督・コーチも変わり感染症対策として試合が少なくなり、昨年とは全然ちがうポートボールになった。六年生前半は、「自分が一番シューターしたい。」「ドリブルでつつこむ。」「自分のことばかりで、せまかったのが原因で監督に「自分で行くのもいいけど、パスを回して空いているスペースに走り込むのも大切。」とアドバイスをもらったりして6年生後半には少しパス回しもできるようになりました。出来るようになったとはいえ、最初から出来たわけではありません。チームで話し合ったり、たくさん練習をしたりしてやっとパス回

しができるようになりました。チームでパス回しが出来たとき、「がんばってよかった。」と達成感があったのと、努力・協力の大切さを学びました。

このように「自分が〇〇する。」という気持ちは大事だが、チームが協力し合って二点入るのが一番気持ちがいいと思う。また試合にでていない子は応援し、し合いでている子は協力し点数をとる。そして、「勝つ」というのが監督の言った

「チーム皆で一勝。」だと私は考えた。ポートボールは最後の〇・一秒まで「負け」か、「勝ち」か分からないから面白い。これからも数少ない試合を大切に、一回でも多くチームの皆で協力し、勝ちたいと思う。



⑥ ピンチはチャンス！

安座・佐鳴子ども会 5年 近藤 和

富塚西ポートボールチームは、毎週、水・土・日と、計三日練習をしています。試合で勝利をつかめるように、楽しみながらもしんけんに練習にはげんでいます。

私は、試合での小さなミスを無くし、良いプレーに変えるために、一つ一つの練習を集中して、ていねいにやり、この練習はどんな場面で使えるのかを考えながらすることを心がけています。そして、一試合一試合走り切るために、ゲームでは、ボールがコートの外に出るまで、最後の一秒までボールを追いかけることを、特にがんばっています。もし、マイボールだったけれど、相手にボールを取られてしまったとき、すぐにあきらめて、ボールをぼーっと見ているだけだと、相手チームに二点入ってしまいます。それが重なると、試合が相手チームのペースで進んでいき、テンポ良く、次々に相手チームに点

数が入ってしまいます。それが負けにつながり、負けの原因になると思います。しかし、ボールを取られても、あきらめずにボールを追いかければ、相手チームに点数が入るのを、ふせげる、もしくは、相手からまたボールを取り返して、点数を入れられることができるかもしれません。最後までボールを追いかければ、チャンスはま

だあると言っことです。なので、最後まで走り切ることは、勝ちにつながる第一歩として、とても大切なことだと私は考えています。

もうあと少ししか時間が無くて、しかも負けている。そんなピンチがあったときには、「ピンチはチャンス！」この言葉を信じて、最後の一秒まで、たたかい、そして勝ちます。これからも、練習からしんけんに、試合のイメージをもち、一つ一つの試合を全力で走り切って、優勝を手に入れられるように、富塚西ポートボールチーム、ワンチームでがんばります。

⑦ 初めての熱気球

増楽町子ども会 4年 林田 百華

子ども会で、熱気球に乗れると知って、絶対乗りたいと思いました。

当日は、楽しみすぎて、早くおきてしまいました。朝は、ウキウキ妹とお母さんと学校に行きました。早く学校に行ったので、熱気球がふくらむ所が、見れました。

ふくらむ所を見た時、力がぬけていて、たおれていたきよ人が、だんだん元気になっておきあがって、ふくらむようすがたに見えました。ふくらんでいるのを見たら、私の気持ちも、ふくらみました。乗る前は、楽しみで、ワクワク、ドキドキしました。いざ乗ってみたら、思ったより高くてももしろかったです。校しゃが見えたり、プールが見えたり、木が見えたり、プールが見えたり、線路が見えたりいろんなものが見えました。火が出る音がうるさくて、火が熱かったけれど、楽しかったです。

上を見ると、中は、空気でいっぱい、広がったです。

大人でも、五十人以上は、入れると思うくらい広がったです。ふくらんでいると中は、パラバルーンを広げているときみたいでした。妹は、乗る前は、こわがっていたけれど、熱気球に乗っている時は、楽しそうでした。

熱気球に乗れて、本当に楽しかったです。また、乗りたいです。

⑧ 仲間とともにつなげた準優勝

神原青空子ども会 6年 加藤 里苑

私たち神久呂ポートボールは、六年になってから二度目の準優勝をとりました。

中日杯や市子連は大きな大会なので、その中の準優勝は私の中でとても大きなことだと思いました。キャプテンとして同じチームに「声を出して、落ち着いてプレーするよ。」とみんながあせている時やタイムアウトの時呼びかけたり、自分自身も大きな声を出してチームを

盛り上げ、一つ一つのプレーを確実にこなすことを頭に
入れて試合をしました。市子連の試合の数々の中で、神
田との試合が、今でも心に残っています。なぜなら、神
久呂が一点差で負けていて、タイムも残りわずかしかな
く、絶体絶命の時、相手チームのパスをカットして逆転
勝利をした時は、みんなで夢かのように、喜び合ったか
らです。

決勝戦では、百園とやって、十点差ぐらいで負けてし
まったものすごくくやしかったけど、前にやった時より
も点差が縮められて少しうれしかったです。でも、デイ
フェンスをしつかりとつくことを意識したりする、一人
一人の工夫で得意なことを生かしていれば決勝も勝てた
んじゃないかと私は、思いました。二つの銀メダルをバ
ネに、残り少ない試合の上野優勝をめざしてがんばりた
いです。

⑨ 楽しくできたパン作り

増楽町子ども会 6年 鳥飼 桜有希



私は、パン作り体験教室でちょっと歪だけどおいしい
パンを作ることができました。

一番上手にできたのは、マフィンです。なぜかとい
うと、二年前ぐらいに作ったことがあったからです。他に
も、ハムとチーズが入ったパンとチョココロネのような
パンを作りました。チョココロネのようなパンは、生地
をのばすところが難しく、チョコが少しはみだしてしま
いました。あと、ハムとチーズのパンは、三等分にする
ときにハムとチーズが端のほうになく、切るときにはハ

ムとチーズが少ししかない状態で、均等に、なおかつ、具があるようにするのが難しく、苦戦しました。

たまたま一緒にパン作りをしていた友達とパンができるまでの間、私が持ってきていたマンガを見て、お話ししていました。持ってきていたマンガは、大人の闇をみせてくれるようなもので、人物の目が死んでいたり、子どもたちに社会の闇の部分の語りたりしているものです。

これが面白すぎて、友達とたくさん笑いながらお話ししていました。

そして、家に返り、家族みんなで食べるとみんな美味しいと言ってくれました。私も食べてみると、すごく美味しくて、特にマフィン、チョコがいい味を出している良かったし、ハムとチーズのパンは、ハムとチーズがからみあって、まとまっているし、さらに食べやすかったので、みんな喜んでくれました。母は、マフィンを友達の子どもにあげるみたいで、2つとっていきました。

喜んでくれるとうれしいです。私は、三つのパンを食べることができて、とても幸せな気持ちになりました。家族みんなも、美味しいと言ってくれたので、私は満足です。ハムとチーズのパンは、三つの中でも、お菓子っぽくないパンだったので、母も父も美味しく食べ、もちろん私も美味しく食べることができたので、一番人気のあるパンでした。

パンを作っているときも、作っていないときも、すごく楽しかったし、パンも美味しく食べられて満足できたりしたので、体験して良かったなと思います。

⑩ 思い出に残ったソフトボール

新津連合子ども会 5年 溝垣 高弘

ぼくは、市子連の大会に出場しました。そして、市子連では、色々なことを学びました。

ぼく達の初めての公式戦は市子連ソフトボール大会でした。今年はコロナの影響で、練習が少なかったけど優

勝りたいと思いました。5対0で最終回にいったけど、相手に三ランホームランを打たれたり、一点取られたりしたけど、ねばって、5対4で勝つことができました。そこから試合のときは、最後まであきらめてはいけないことを学びました。

二回戦は、北クラブと戦いました。最初は、2対0で勝っていたけど、相手に満塁ホームランを打たれ、2対4と逆転されてしまいました。けどあきらめずに戦ったから、味方が二点タイムリーとヒットを打ち、同点に追いつくことができました。しかし、タイブレークでは、相手に三点取られてしまいました。だが、「試合では最後まであきらめない。」という言葉が自分の力になって、あきらめずに試合をしましたが結果、負けてしまった。予選敗退をしてしまいました。だけど、最後まであきらめなかった自分のことは、次の自信につながったと思います。

市子連で予選敗退をしたことで、悔しさがうまれ、チーム全体で努力をしました。まず、チームでは、毎週土日にチーム練習を朝から昼まで行いました。かんとくやコーチが午後の自主練習を見てくれました。そのいろいろな練習の中で自分の得意技を見つけられました。ほかにもぼくが弟と毎朝、朝練習をしてバッティングやバントからの走塁も上手になり、ノックもたくさんとれるようになった。

ぼくはソフトボールに入って、友達とたくさん練習して、友達もたくさん増えました。ほかに友達がホームランを打ったり、ファインプレーをする姿を見て、自分も負けずに試合に出られるように努力することができました。ソフトボールは、とても楽しかったです。



⑪ かぞくのえがおがふえたよフラワーアレンジメント

増築町子ども会 2年 野中 彩未

さいしよは、おしえてもらったとおりにやっていたから
むずかしかったけど、こんどは、「自分がやりたいとおりに
やっていたい。」と言われたから、びっくりしちゃったけど、
やってみたら、けっこう楽しかったです。そして、わた
しがくふうしたところは、草をまるめて、ドームの形の
ように、やってみたら、おしやれかなと思ったたらとても
よかったです。

そして、家にかえってみんなに見せたら、みんな「す
こいー!」といってくれたから、とてもうれしかったです。

しゃんもいっぱいとってくれて、お母さんもお父さん
もよろこんでいたから、しよくじをするテーブルにその
花のやつをおいたらきれいだったから、そこにおい
てみたら、つぎの日の朝、おいてあるのを見ながら朝ご
はんを食べたら、とてもきれいだったから、子ども会が
あってよかったです。だから、つぎの子ども会も楽しく
やりたいです。子ども会のおかげで、かぞくのえがおが
いっぱいになりました。

⑫ 富塚西ポートボールチーム

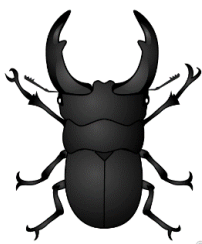
富塚西子ども会 5年 犀川 未悠

今回は、この状況の中で市子連大会を開いてくれてあ
りがとうございます。私は、六年生のポートボール生活
最後の年で、四月、五月は学校が自肅期間中で、ポート
ボールの練習やたくさんの試合ができませんでした。け
れど、その自肅期間中にたくさん自主練習をして六月か
ら大会がはじまってもいいように・・・試合に勝てるよ

うに練習をいっしょうけんめい頑張りました！私は、副キャプテンとして、チームを引っばっていくという使命があつて、せい一杯がんばりました。そして、市子連大会の決勝まで行けました。決勝に行ったなら、第一試合で負けたら恥ずかしいなと思って、絶対に負けたくないという気持ちが強くて全力で挑みました。けれど神田に大差で負けてしまいました。悔しくて動画を何回も見直しました。決勝戦の試合も見て、自分たちがやったプレーと全くちがいました。そうやって練習のせいかはつきできるところは、大きい大会です。そんな大きい大会の市子連・中日杯・親睦大会といった大会をこの状況の中でかさいしてくれて本当に嬉しくて感謝しています。ただ、人数が二十一名といて、だれかが応援できなかったり、会場のベンチに入れなかったりしています。だから早くコロナがおさまったら選手の入場制限をなくしてほしいです。そうすれば、チームのみんなが一つになっ

て試合に勝てるような気がします。

このように、残り少ない練習や卒団するまでに絶対優勝したいです。



⑬ クワガタ

若林東子ども会 3年 石塚 ゆら

わたしは、8月8日にクワガタ教室に行きました。クワガタ教室では、入れ物に、土を木のようにかたく入れました。なぜかというと、わたしがそだてるオオクワガ

々は、木が好きだからです。林などにせいそくしていません。

オオクワガタは、野生にはいません。いてもしくしてにげてしまったのです。オオクワガタは、ぜつめつくぐしゆです。

いれものにかたく土をいれればいれるほど木のようになるのでオオクワガタがそだちやすいです。

オオクワガタのよう虫は、さわったらしんでしまうのでさわらないように気をつけました。後、わたしは、もう一つノコギリクワガタのせい虫をもらいました。さいら、メスが1匹きました。でも、何回もみていたら、メスがもう1匹きました。わたしは、びっくりしました。さいしよは、オスだから「メスがよかったなあ。」と思いました。何日も見ていたら、ノコギリクワガタがいつぱいいました。でも考えてみたら、メスがいつぱいければ、クワガタがふえます。ぎやくにオスがいつぱい

ると、オスどうしが、メスをうばいあうからけんかしてしまうので、メスが2ひきでオスが1ひきなら、けんかしないからよかったです。

ノコギリクワガタはせい虫なので、オオクワガタよりはやく死んでしまいます。理由は、冬をこせないからです。ノコギリクワガタは、あたたかい場所にも生育しています。

オオクワガタは、上手に、そだてれば、2〜3年ぐらいい行きます。わたしは、オオクワガタを上手にそだてて何年も、生きてほしいです。

⑭ 花のながれ星

東若林子ども会 2年 山崎 慶真

まず、くふうしたところは、輪っかのところにモールの輪を入れたのがながれぼしに見えたからだいめいは、ながれ星です。

つぎに、ぼうで四角形のようにかこみました。それから、むらさき色の花をまげて、ハートの形にしました。そのつぎに、花をみじかくきったり長くきったりしました。さいごに、まつぼうくりとりボンを下にしたり、上にしたりしました。お花がなくてもくきだけでさしました。一本だけ長くして、それいがいは、丸めました。かんそうは、スポンジにさしたり、花でこんなことができると子ども会ですばらしいことができて楽しいです。花のたい会がすごく楽しいです。花のたい会のおかげで、花はすごい生きものだなと思いました。はなたばを作るかんじでやってみたけど、こんなにできてうれしいです。このたい会をもういちどやってみたいです。

はなのたい会ははじめてやったのでさいしよは、むずかしかったけど、さいごは、だんだんできてきました。花のたい会があつてよかったです。

子ども会体験作文の募集中です。

〒431-0211

浜松市西区舞阪町舞阪 2668-349

舞阪保健センター内

浜松市子ども会連合会事務局

TEL&fax 053-596-2878